

あなたは何を信じていますか？

『信』

～体験から見えてくるもの～

「辻 雅榮」 × 「大塚秀行」 対談



今から23年前、1人の真言僧が高野山から真宗王国である金沢の真言宗寺院、宝泉寺に機縁ありて入寺する、その後の御縁から生まれてくる数々の奇譚 また入寺翌日から今も続く日々の護摩行そして10度を超える真言宗最秘法行の焼八千枚護摩供。若き真言僧は、宝泉寺に、燃え上がる護摩の炎に何を見たのか？そして何を信じて、1人寡黙に護摩行を続けるのか？その一方、高野山足湯隊の主宰者として人々の足を丁寧に洗う・・・。

真言宗僧侶であり長年心理療法家として多くの臨床経験を持つ心の行者である大塚秀高師が

「静かなる行者」辻雅榮師の心の中を探求し、彼の持つ精神世界を探る。

何を信じて良いのか、何を頼りにすれば良いのか、人々が見失いつつある現代にぶれることなく己が信じる道を突き進む二人の僧侶が見ているその精神世界。

二人は祈りの向こうに何を感じ何を見ているのか・・・浄土真宗本願寺派の僧侶であり出版社社長である小笠原正仁師の案内で二人の その精神世界を垣間見てみようではありませんか!!!

日時 平成30年12月10日（月・友引） 13:00開演（12:30開場）17:00終了予定

場所 西本願寺同朋センター 京都駅より徒歩7分

（京都府京都市下京区米屋町167／075-343-5047）

受講料 5,000円（当日受付にてお支払ください）

申込み 裏面の受講申込書をFAXにてお送りください（メール可） 〆切 12月5日

受講証を送付致しますので、当日受付にお渡しください。

FAX 072-794-9603 Mail seizan1428@gmail.com

解説

大塚秀高師

昭和25年、新潟県に生まれる

真言宗智山派 本智院住職 大正大学カウンセリング研究所研究科修了後、同研究所助手 大正大学文学部講師を経て智山教化センター専門員、智山専修学院院長を歴任。また来談者中心療法について長年研究と実践を行い、その経験に基づいて、弘法大師空海の教えである真言教学を独自に解釈し展開している。

著作には 生と死の心理学 阿吽社 2011/12 「生・死」の刹那を生きる-仏教“心理臨床”講話 阿吽社 2015/3 他

辻 雅榮師

昭和35年、和歌山県伊都郡高野山に生まれる

高野山真言宗 寶泉寺住職 高野山靈宝館、高野山大伽藍勤務。平成7年、金沢寶泉寺入山。弘法大師御伝来の真言密教の大法中、もっとも甚深の秘法といわれる護摩法を修行の中心に据え、檀信徒とともに日々研鑽を重ねている。平成19年、能登半島地震での奉仕活動をきっかけに、「高野山足湯隊」を結成。全国各地の被災地で、有志ともども足湯ボランティアを行った。

小笠原正仁師

阿吽社社長 浄土真宗本願寺派僧侶 社団法人和歌山人権研究所理事 財団法人同和教育振興会理事 NPJ(非暴力平和隊日本)理事 大阪芸術大学非常勤講師 元高野山大学客員教授

主催団体紹介 志高会

高野山真言宗「心の相談員養成講習会」の大塚秀高先生の講義に刺激を受けた受講者達が、先生の教えを更に深く研鑽するべく集まった有志。今年度からは規模を縮小し、年に一度公開講座を開講することを目指しています。

語句説明 護摩とは何か。

真言宗に伝わる火を用いる儀式、火は迷いを焼き尽くす力を意味し、智慧や真理を表す。護摩壇を設け、護摩木を焚いて災難を除き幸福をもたらすべく祈願する。真言宗以外にも日本では天台宗・神道でも修する。

焼八千枚護摩供 釈尊は衆生教化の為にこの世とあの世を往来すること八千遍に達すると梵網経に説かれる「親鸞聖人」も『安心決定鈔』に「往来娑婆八千遍」と説く。また八百の煩惱が八千に広がるとも言われ、その八千（一切の意）の罪業煩惱を消滅する行。数週間の前行を勤め精進潔斎のもと五穀断ちを経て断食断水の中最後に一座で八千枚の護摩木を焚く、真言宗随一の荒行。



絵 悟東あすか

受講申込書

FAX 072-794-9603 Mail seizan1428@gmail.com

ふりがな	
御名前	
御住所	〒
電話番号	
職種	